

『塩竈市東日本大震災 復旧・復興の記録 ^{あした} 明日へ』について

1. 目的

東日本大震災の被災状況や、市、防災関係機関、また、市民や民間団体などの取組みと復興への道のりを記録誌としてまとめ、新たな世代に教訓として伝えます。

2. 概要

(1) 誌名『^{あした}明日へ』

塩竈の明日を担う次世代に、震災の体験を語り継ぐとともに、復興途上にある本市の将来に向かう展望を開く意味を『明日へ』という誌名に込めました。

(2) 構成

① 『震災以降の歩み 3.11 現在・未来』

市が体験した東日本大震災を、次の3つの観点で記録します。

- ・3.11 当時の被災状況
- ・今日までの復旧・復興の歩み
- ・復興の将来像

② フォトストーリー『しおがま 過去・現在・未来』

これまで、津波をはじめ幾多の災害に見舞われながら、その度に復興し、更なる発展を遂げてきた塩竈の歴史を、写真と年表を通して再確認します。

③ 被災市民・団体・NPOの取り組み『そして明日へ』

個人商店、地元企業、NPO、病院など、16人に取材。

④ 全国から寄せられた支援とエール

職員を派遣いただいた自治体・機関や、文化大使・産業大使からの応援メッセージを紹介。

⑤ 市民対象ワークショップの報告

参加した市民が、塩竈の災害の歴史を学び、自身の被災体験を伝え合い、復興の在り方についての議論を通して、震災を語り継ぐことの重要性を再確認します。

3. 発行部数等

【詳細版】200 ページ 3,000 部

市の公共施設等において閲覧できるようにするほか、応援自治体や関係機関に寄贈いたします。

【市民版】40 ページ 23,000 部

市内全戸に配布します



プロローグ『2011.3.12 新たな始まりの朝から』



道路の啓開作業



支援をいただいた自治体、団体へ贈った「大漁旗」



ワークショップ風景

東日本大震災 復旧・復興の記録 あしたへ 明日へ

宮城県塩竈市